

横浜マック・グループホーム いしずえ卒業

「いしずえ」から自立しました

横浜マックの通所開始と同時に「いしずえ」にお世話になり、1年9ヶ月を経て退寮となりました。病院から鞆ひとつだけの荷物を持って入寮した頃のことを思い出すと、結構長い道のりだった様な気がします。「いしずえ」では、ある程度の規則はあるものの、家庭的環境の下で、穏やかに安心して生活する事が出来ました。そのおかげで断酒の継続ができたと同時に、規則正しい生活の中で身体的にも安定してきたことを実感しております。しかし、何事も問題がなかった訳ではありません。その都度、共同生活の中で協調性を優先させる事を学びました。生活を共にした仲間の寛容さに感謝します。新しい生活を始めてまだ間もないので、慣れていくのに精一杯の状況です。地域社会での生活へ一歩踏み出す事が出来ましたが、これからも仕事と自助グループへの参加を継続し、飲まない生活を確立していきたいと思えます。

H・K

・ 荷造りを 終えた芒種の 空低し

「いしずえ」に入居して

私は、昭和34年生まれの男性です。ごく一般の家庭に育ち兄弟は私が長男で下に弟が二人います。ところが父が昭和41年に交通事故に合い死亡、突如、大黒柱を亡くした母は、人一倍苦勞して私達を育ててくれました。中学校を卒業して夜間高校に通いながら働きだしましたが、22才の頃から連続飲酒がやり29才で結婚しました。8年目に子供を授かり幸せな生活が始まりました。結婚した当時別々に暮らして居た母を、子供が10才頃に引き取り一緒に暮らし始め、何年か経ち母も高齢を迎え認知症が進行していきました。そんな母をいつも見てイライラ感がつつのり、暴力をふるってしまい全治三ヶ月の重傷を負わせてしまいました。全部酒のせいと言え苦勞して育ててくれた母に申し訳なく、酒を断つ決心をしました。病院に三ヶ月入院をし、退院後中間施設に、そしてグループホームにつながり、体験入居を経て、本入居を決め現在二ヶ月に入りました。廻りに同じ苦しみを持つ仲間、施設の仲間の中で共にアルコールを断って行きます。これから長いグループホーム生活が待っていると思うのですが一生懸命、頑張るつもりでいます。

Y・K

梅雨凌ぎ 歩き始めて 早三月